

淡路新地域ビジョン策定の趣旨及び検討の進め方について

1 策定の趣旨

21世紀初頭の兵庫のめざす将来像を示し、中長期の県政の指針ともなっている「21世紀兵庫長期ビジョン」（2001年策定、2011年改訂）の想定年次（2020年頃）が到来した。

現行の淡路地域ビジョンも同様に、策定から20年、改訂から10年が経ち、世界も日本も大きく変化する中であって、今後の兵庫づくりの方向性を県民と共に考え直す時期が来ている。

このことから、現行ビジョンに代わる新たな淡路地域の将来ビジョンを策定する。

2 新ビジョンの概要

（1）策定期期

令和4年（2022年）3月

（2）展望年次

当面、一世代後の概ね30年後の2050年を「展望年次」として検討を進める。

（参考）現行ビジョンでは、将来を考えるために見通しておく時期（概ね30年後）を「展望年次」、ビジョン実現に向けた取組の時期（概ね10～15年後）を「想定年次」としている。

当初（2001年02月）[展望年次] 2030年頃 [想定年次] 2010～15年頃

改訂（2011年12月）[展望年次] 2040年頃 [想定年次] 2020年頃

（3）新ビジョンの構成

現行ビジョンでは、4つの社会像からなる「全県ビジョン」に加えて、県民が主体となって地域の将来像と行動目標を示す「地域ビジョン」を策定している。新ビジョンにおいても全県ビジョンと地域ビジョンを策定する。

（4）新ビジョンの性格

新全県ビジョン＝新地域ビジョンの大枠ともなる県全体の骨太な将来像を示すもの

新地域ビジョン＝共通の特性を有する地域ごとの将来像と行動目標を示すもの

《新地域ビジョンに期待される性格》

- ・人口減少等の社会変化の様相を地域の特性に合わせて分かりやすく「見える化」すること
- ・住民が共有できる「なりたい姿」を大胆に描き、中長期的な地域づくりの方向性を示すこと

※行政主導型の「計画」ではなく、住民自らが描き、その実現を目指そうとする「淡路地域の将来像」である。

3 新地域ビジョン検討の進め方

(1) 淡路新地域ビジョン検討委員会の設置

[役割]

新地域ビジョンの策定主体として、地域の資源や課題の調査、新地域ビジョン案の検討・起草等を実施する。

[運営方針 (案)]

- ・ 2ヶ月に1回程度の開催を目安とする。
- ・ 当面は地域課題や地域資源の整理など、現状把握を行いながら、新ビジョンの方向性や内容について議論する。
- ・ 本庁ビジョン課において、全県版将来構想試案（12月頃）が取りまとめられた後、その内容を踏まえながら本格的な骨子案の検討を行う。
- ・ 議題は事務局より提示するが、委員から議題提案をしていただいてもかまわない。

(2) 県民との意見交換（※基本的に事務局で実施）

県政の基本姿勢である「参画と協働」により新ビジョンの策定を進めるため、様々な形の意見交換の場を設け、より多くの県民の意見を検討委員会での議論に反映させる。

①地域デザイン会議 [時期] 主に2020年度中

住民有志が討議を重ねて将来の地域デザインを描くワークショップを開催

※ワークショップ等の運営及び地域デザイン案の作成をNPO法人へ委託し、今年度中に地域デザイン案をとりまとめ、骨子案策定の参考とする。

②ビジョンを語る会 [時期] 主に2020年度中

地域の様々な団体・グループと地域の課題や将来像について車座形式で対話を実施。

対話の内容については随時、検討委員会へ情報提供を行う。

③ビジョン出前講座 [時期] 主に2020年度～2021年度前半

高校や大学等の授業等で、新しいビジョンについて学生と意見交換を実施。

④未来フォーラム [時期] 主に2020年度後半～2021年度前半

広く一般県民を集めたフォーラムを開催し、新ビジョンの検討状況の発表や県民と意見交換などを行う。

※検討委員会の委員にも積極的に参加していただき、意見交換や情報収集を行い新ビジョン策定の議論につなげる。

⑤ヒアリング調査の実施 [時期] 随時

・地域のキーパーソン、先進的な活動をしている事業者・地域団体等に対して様々な視点で聞き取り調査を実施する。

・基本的には事務局で実施するが、各委員が普段の活動の中で聞き取りを行い、委員会の場で情報提供することも可

(視点の例示)

- ・人口の集積・分散の方向性
- ・人口の年齢構成
- ・田舎暮らし、都市機能強化、ニュータウン再生
- ・空き家など地域空間の再生、二地域居住
- ・STEAM教育、ふるさと・心の教育など人材育成
- ・環境保全、県土強靱化、地域防災力、防犯
- ・スポーツコミュニティ、芸術文化
- ・その他の地域のイメージ、キャッチフレーズ
- ・未来の産業構造・基幹産業（農林水産業を含む）
- ・各世代の日々の地域での暮らし・働き方のイメージ
- ・起業、先端産業、中小企業、商店街等の活性化
- ・国際化、外国人の住環境整備
- ・子育て、医療・介護、セカンドライフ
- ・ツーリズム、景観形成、地域資源の活用・創造
- ・高速・基幹道路、空港、デマンド交通

(3) SNSを活用した情報発信

Facebook 等の SNS を活用して新ビジョンの検討状況などを発信・共有

4 全体スケジュール（大まかな流れ）

